

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境			0.40	-		3.1
1 音環境		-	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル		-	-	3.0	0.50	
1.2 遮音		-	-	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	-	-	
2 温熱環境		-	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御		-	-	3.0	0.50	
1 室温		-	-	3.0	0.63	
2 外皮性能		-	-	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		-	-	3.0	0.20	
2.3 空調方式		-	-	3.0	0.30	
3 光・視環境		-	0.25	2.9	1.00	2.9
3.1 昼光利用		-	-	1.9	0.30	
1 昼光率		-	-	2.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備		-	-	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		-	-	4.0	0.30	
1 昼光制御	住居部:カーテン・庇を採用	-	-	4.0	1.00	
3.3 照度		-	-	3.0	0.15	
3.4 照明制御		-	-	3.0	0.25	
4 空気質環境		-	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策		-	-	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用	-	-	4.0	1.00	
4.2 換気		-	-	3.0	0.38	
1 換気量		-	-	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.6
1 機能性		2.2	0.40	2.6	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備		1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	2.8	1.00	2.8	
3.1 空間のゆとり			-	2.6	0.50		
1	階高のゆとり		-	3.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ		-	2.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり			-	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性		3.0	1.00		-		
1	空調配管の更新性	3.0	0.20		-		
2	給排水管の更新性	3.0	0.20		-		
3	電気配線の更新性	3.0	0.10		-		
4	通信配線の更新性	3.0	0.10		-		
5	設備機器の更新性	3.0	0.20		-		
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20		-		
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.4	
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.4	
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.0	
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20	-	-	3.0	
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 0.82	、LED照明設備を導入している。	5.0	0.50	-	5.0
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価			-	-	-		
4.1	モニタリング		-	-	-		
4.2	運用管理体制		-	-	-		
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-		
4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-		
4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-		
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0	
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0	
1.1 節水		3.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-		
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減		3.1	0.60	-	-	3.1	
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		壁:LGS下地を採用。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-		
1	消火剤	-	-	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-		
3	冷媒	3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0	
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率91%	3.3	0.33	-	3.3	
2 地域環境への配慮		2.8	0.33	-	-	2.8	
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-		
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-		
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-		
3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-		
1	騒音	3.0	1.00	-	-		
2	振動	-	-	-	-		
3	悪臭	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-		
1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-		
2	砂塵の抑制	3.0	-	-	-		
3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-		